

技術部会

2013年のスマートフォン脅威 と2014年の脅威予測 まとめ

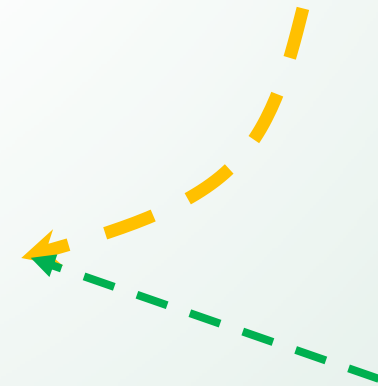
2013年11月28日

日本スマートフォンセキュリティ協会

2013年のスマートフォン脅威まとめ(1)

- 依然としてモバイル系マルウェア(Android)は増加傾向にある
 - Android ターゲットの明確化
- 攻撃(質)の変化
 - 個人情報取得を目的としたマルウェアが依然として多い
 - 遠隔操作・監視を行うマルウェアが増えてきている
 - 情報を盗んで、その情報を何かに利用する(直接的な金銭目的ではない事もある)
 - BackDoor系、Trojan系
 - 攻撃者が、政府系や軍事系を狙うケースの増加
 - ソーシャルエンジニアの巧妙化
 - モバイル系から盗んだ情報なども利用し、さらに高度化
- Android 系のマルウェアの高度化
 - コードの難読化やバックグラウンドでの動作、審査の困難化など
- ターゲットにするならゲームカテゴリを選べ！
- モバイルバンキングに関するマルウェアの出現(各種情報の入手と送信)

マルウェア攻撃の流れ確立？



2013年のスマートフォン脅威まとめ(2)

- App Store にも不正アプリが？
- Twitter (SNS) による拡散と拡散速度の高速化(短時間に広範囲へ)



2014年の脅威(予想)

- 2014年においても、モバイルマルウェアの増加傾向は変わらないだろう
 - Android 用マルウェアの進化速度は速い(PCからのフィードバック?)
- 一連の攻撃の中でモバイルも狙うような攻撃が増加するのではないか
- マルウェア エコシステムは新興国市場に広まるのではないか
- iOSのヒヤリハットが2014年には顕在化するかもしれない
 - ⇒ マーケットの審査体制次第
 - 詐欺行為で、マーケットの審査体制をかいくぐる可能性
- ブラウザ経由攻撃(不正コード実行)に注意が必要
- スマートフォンに対するフィッシングが増加?
- 近距離通信(NFC等)デジタルウォレットがターゲットになるかもしれない
 - ワームなどの出現と、近距離での拡散
 - エレベータや満員電車などでの感染
- 生体認証とその情報がターゲット化するのではないか
- 第三のモバイルOSに対する攻撃の出現(WEBベースの攻撃など)

注意点のまとめ

- 今後も、スマートフォンのプライバシー問題に注意
- ソーシャルメディアのリンクに注意
- スマートフォンで利用するサイトのパスワードに注意(安易なものを避ける)

以上

